

平成 20 年度施策評価表

| | | | | | |
|----------|----------|----------------------------------|----------|-----------|--|
| ① 総合計画 | まちづくりの目標 | 5 章 にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち（産業・経済の活性化） | | | |
| | 施策（大柱） | 1 節 農業 | H20 | 52,518 千円 | ※「H20実施計画事業費合計」は、当該計画に主要な事業と位置づけられた事務事業について、各施策、各中柱でそれぞれ合計した事業費です。 |
| | 中柱 | 1 生産基盤の整備 | H20 実施計画 | 5,410 千円 | |
| | | 2 経営基盤の強化 | 事業費 | 36,335 千円 | |
| | | 3 農とのふれあいの推進 | 事業費 | 10,773 千円 | |
| | | | 事業費 | 千円 | |
| | | 事業費 | 千円 | | |
| 施策に関する所属 | 農政課 | | | | |

1) 基本方針及び施策の目的

○安全で安心な農産物を安定供給するため、生産基盤の整備と経営基盤の強化を進める。
 ○農業者の減少と高齢化に対応するため、意欲と能力ある担い手の育成、確保に取り組むとともに、女性の参画を進める。
 ○所沢の農業、農産物への理解を深めるため、市民との交流やPRを進める。

2) 施策の具体的な内容及び実施方法

生産基盤の整備 農業振興地域の農地の有効利用を推進し、優良農地の保全、及び遊休農地の減少をはかる。また、女性的・効率的に行うための施設、機器の導入への支援や有機資源を活用した総合的な土づくりを進める。さらに環境に配慮した持続性の高い農業生産方式を導入するとともに、家畜、畜舎の適正管理と周辺環境に配慮した畜産業をすすめる。 ○経営基盤の強化 経営感覚に優れた農業者の育成や女性後継者の経営参画、後継者不足に対する経営改善の補助や、各種農業団体などの連携・支援、所沢ブランド品の生産拡大と安定供給をはかる。また、農業者年金の維持にも取り組む。 ○農とふれあいの推進 所沢産農産物の学校給食への利用や直売所などを通じた地域内流通を進める。また、農業祭などのイベントを通して農業者と市民との交流

3) 分野別計画、指針

○所沢市農業振興地域整備計画 ○所沢市地域農業マスタープラン

② 施策の概要

4) 関連・類似施策

○1-1環境との共生 ○1-4廃棄物・リサイクル ○4-2学校教育

5) 施策に対する市民ニーズ

| | | | | | | | | |
|---|------|-------|-----|--------|--------|------|-------|-----|
| 『平成19年度所沢市市民意識調査』（20歳以上の男女、無作為抽出による2000人を対象とし、平成19年11月に実施。831人より回収。）における、全43施策についての市民要望の確認（複数回答可）の結果です。 | 要望者数 | 224 人 | 要望率 | 27.0 % | 全施策中順位 | 21 位 | 分野中順位 | 3 位 |
| | | 831 | | | 43 | | 6 | |

6) 施策に係る基礎数値

| 項目名 | 単位 | 平成17年度 | 平成18年度 | 平成19年度 |
|-----------------------|----|--------|--------|--------|
| 農家戸数（2005年 世界農林業センサス） | 戸 | 1,861 | 1,861 | 1,861 |
| 農業者数（2005年 世界農林業センサス） | 人 | 2,631 | 2,631 | 2,631 |
| 農業後継者協議会・4Hクラブ会員数 | 人 | — | 97 | 98 |
| 認定農業者数 | 人 | 71 | 88 | 168 |

③ 優先的に取り組む事業

| 事務事業名 | 成果指標名 | 指標の説明 | 単位 | H19目標 | H19実績 | 達成率% | 将来目標 |
|----------------------|------------------|---------------|----|-------|-------|-------|------|
| 031203 環境にやさしい農業推進事業 | 事業参加者数 | 事業に参加した農家戸数 | 戸 | 290 | 302 | 104.1 | |
| 031223 地産地消推進事業 | 所沢産農産物の直売所への出荷割合 | 直売所への出荷数/総出荷数 | % | 20.0 | 16.0 | 80.0 | 30.0 |

※「優先的に取り組む事業」とは、第4次所沢市総合計画・実施計画において、特に優先的に資源配分を行うとしたAランク事業のことです。H19年度でのAランク事業は、全体として67事業です。なお、この欄には、これらAランク事業の中で、「①総合計画—中柱」に位置づけられたものが記入されます。

| 指標名 | 説明 | 単位 | 基準値 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | 将来目標 | |
|-------------------------|---|----|-------|--------|--------|------|--------------|--------------|------|-------|
| 【5年後の目標】認定農業者数 | 意欲と能力のあるプロの農業者として認定される「認定農業者」の人数 | 人 | 年度 16 | 目標値 | 73 | 76 | 79 | 82 | 85 | 年度 22 |
| | | % | 実績値 | 67 | 実績値 | 88 | 168 | 実績値の拡大を目指す 1 | | 目標値 |
| | | % | 達成率 | 120.5% | 221.1% | | | 85 | | |
| 【5年後の目標】学校給食への所沢産野菜の使用率 | 小中学校の年間給食実日数のうち学校給食センターで所沢産野菜を使用した日数の割合 | % | 年度 16 | 目標値 | 67.7 | 70.8 | 73.8 | 76.9 | 80.0 | 年度 22 |
| | | % | 実績値 | 61.5 | 実績値 | 73.0 | 71.0 | 実績値の拡大を目指す 1 | | 目標値 |
| | | % | 達成率 | 107.9% | 100.4% | | | 80.0 | | |
| 5年後の目標/成果指標 | | % | 年度 | 目標値 | | | | | | 年度 |
| | | % | 実績値 | | | | 実績値の拡大を目指す 1 | | 目標値 | |
| | | % | 達成率 | | | | | | | |
| 5年後の目標/成果指標 | | % | 年度 | 目標値 | | | | | | 年度 |
| | | % | 実績値 | | | | 実績値の拡大を目指す 1 | | 目標値 | |
| | | % | 達成率 | | | | | | | |

⑤ 平成19年度中に取り組んだ改革・改善点や、新たに実施した事業等、特徴的な取り組み

平成20年1月に農産物直売所「とことこ市」を御幸町へ移転したことに伴い広報活動を充実させ、売上の向上を目指した。

⑥ 評価（課題及び目標、方向性）

| 1) 平成19年度評価により明らかとなった課題、及び新たに認識された課題 | 現在の進捗状況 | | | | |
|--|---|-------------------------------|---|--|-------------------------------|
| 今後、農業従事者の高齢化や農業後継者不足に伴い、農地の耕作放棄や不作付けの農地の増加が見込まれる。 | <input type="checkbox"/> 課題の解決 | <input type="checkbox"/> 予定以上 | <input type="checkbox"/> 順調に推移 | <input checked="" type="checkbox"/> 状況変わらず | <input type="checkbox"/> 悪化傾向 |
| 市民の食に対する意識が高まり、安全・安心な農産物の提供が求められている。さらに環境に配慮した農業への関心も高まっている。このため、さらに地産地消を進めるための取り組みが必要である。 | <input type="checkbox"/> 課題の解決 | <input type="checkbox"/> 予定以上 | <input checked="" type="checkbox"/> 順調に推移 | <input type="checkbox"/> 状況変わらず | <input type="checkbox"/> 悪化傾向 |
| 農産物生産振興事業、資源循環型農業推進事業、茶生産振興事業等目的別の補助事業について、予算が硬直化し事務が煩雑化していた。 | <input checked="" type="checkbox"/> 課題の解決 | <input type="checkbox"/> 予定以上 | <input type="checkbox"/> 順調に推移 | <input type="checkbox"/> 状況変わらず | <input type="checkbox"/> 悪化傾向 |
| | <input type="checkbox"/> 課題の解決 | <input type="checkbox"/> 予定以上 | <input type="checkbox"/> 順調に推移 | <input type="checkbox"/> 状況変わらず | <input type="checkbox"/> 悪化傾向 |
| | <input type="checkbox"/> 課題の解決 | <input type="checkbox"/> 予定以上 | <input type="checkbox"/> 順調に推移 | <input type="checkbox"/> 状況変わらず | <input type="checkbox"/> 悪化傾向 |

2) 平成20年度における目標設定

| 今期目標項目(何を) | 達成水準(どこまで) | 時期(いつまで) |
|---|---|----------|
| 調査結果を分析し、農山漁村活性化計画及び田園環境マスタープランを策定する。 | JA組合員を対象として農業経営基盤整備についての意向調査をアンケートと聞き取りにより実施しその結果を報告書としてまとめる。 | 平成21年3月 |
| 地産地産事業を推進し、消費者に対し安全・安心な所沢産農産物の理解を進めるとともに、農業産出額の増加を図る。 | 所沢産農産物に貼り付けるシールを作成し、PRを行なうとともに農業に関する情報誌を創刊し、農産物の消費拡大を図る。 | 平成21年3月 |

3) 今後の方向性（事務事業の重点化・効率化、実施手段の見直し、他施策との連携、市民との協働 など）

本市の農業は、緑豊かな自然と調和した、ゆとりある都市環境の形成、維持に大きな役割を果しているとともに、さといもに代表される露地野菜や茶を中心に県内有数の生産量を誇り、農業算出額も県内上位に位置している。しかし、農業従事者の高齢化や農業後継者の減少により耕作放棄地や不作付け地が増加傾向であり農業算出額は低下傾向である。こうしたことから、農業振興を考える上で、農業後継者の確保・育成は最重要課題となっており、現在、認定農業者等経営改善推進事業や農業後継者確保育成推進事業等を進めているところである。今後はさらに、農業基盤整備や地産地消の推進などにより経営基盤の強化を進めていくことが必要である。また、近年消費者の食の安全に対する意識の高まりや全国で進められている食育推進事業により農業への期待は大きくなっていることから、農業従事者、JAいるま野、大学他関係機関等と連携し、地区内消費に向けての研究を進めるとともに地域資源の活用と大消費地に近いという都市型農業の利点を生かした事業を推進し、農業産出額の増加を図る。

| | | | |
|-----|-----------|--------|---------------|
| 評価日 | 平成20年8月5日 | 記入者職氏名 | 市民経済部次長 仲 志津江 |
|-----|-----------|--------|---------------|